



これは昨夏、父の田舎に  
帰省してた時の話

# 処類様



およそこの世のものとは思えない姿に恐怖しつつも



じつとりと蒸れた甘い乳のような匂いに抗うことが出来なかった





あわっ

うい



.....



あッん♡

ん♡



おっおっ...

!!



ん♡

ふ♡

.....



それっ...



ん♡





彼女の腔内はとても熱く  
幾度となく果ててしまった

経験したことのない  
快樂の波に溺れる度  
頭が真っ白になった



しばらくして  
彼女は満足したのか  
去って行った

いつの間にか気絶していた僕は  
倒れているところを助けられた



またこの場所を  
訪れようと思う

しよたぐいさま  
完